

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成19年7月31日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・おおむね横ばいとなっている。

大型小売店販売額は前年を上回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を下回った。(5月)
公共工事請負金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別
着工建築物工事金額は前年を下回った。(6月)

産業面・・・一部に弱い動きが見られるが、おおむね横ばい圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数が電気機械工業等の減により前月を下回った。(5月)

雇用面・・・おおむね横ばいとなっている。

現金給与総額は前年を上回り、所定外労働時間は前年を下回った。(5月)
求人倍率は、新規は前月を下回り、有効は前月を上回った。(6月)

需要面の動き

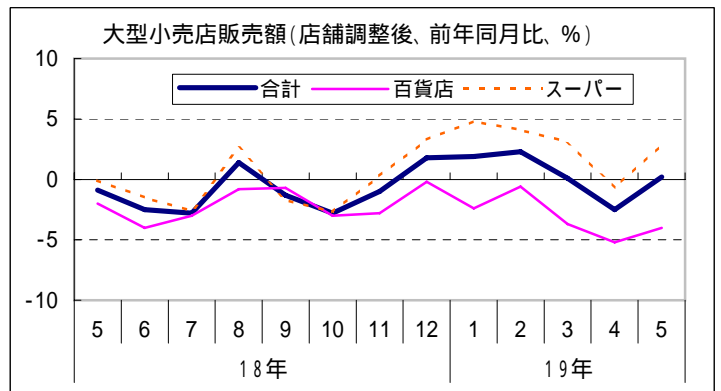
大型小売店販売額(5月)

全店舗の販売額は、54億3,965万円(前年同月比0.2%増)と2か月ぶりに前年を上回り、店舗調整後
でも2か月ぶりに前年を上回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	543,965	0.2 (0.2)
百貨店	203,774	4.0 (4.0)
スーパー	340,191	2.9 (2.9)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(5月)

30億6,772万円(前年同月比4.4%減)と2か
月続いて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(6月)

1,698台(前年同月比12.7%減)と12か月続いて前年を下回った。
減少の内訳では、小型車の減少(前年同月比17.8%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(6月)

292戸(前年同月比18.4%減)と2か月ぶりに前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月
比27.6%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(6月)

21億2,995万円(前年同月比66.6%減)と3か月ぶりに前年を下回った。用途別では、卸売・小売業
用(前年同月比68.9%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(6月)

95億4,100万円(前年同月比0.6%増)と2か月続いて前年を上回った。発注者別の内訳では、市町村
の増(前年同月比43.1%増)が大きな割合を占めた。

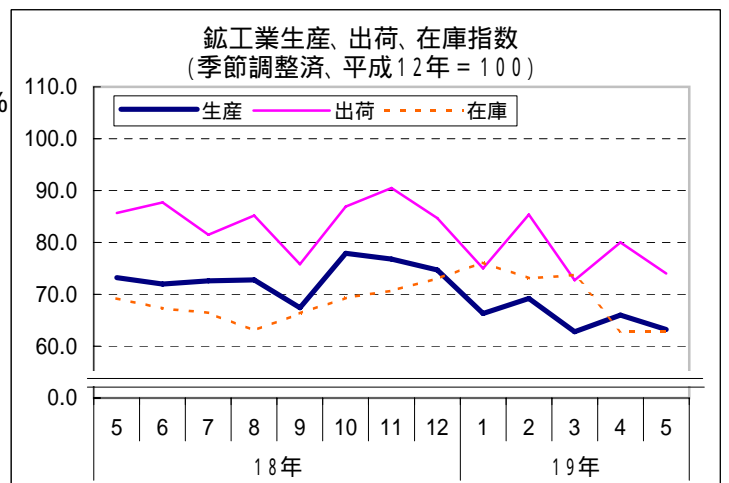
産業面の動き

鉱工業指数(5月)

生産指数(季節調整済)は63.2(前月比4.2%
低下)と2か月ぶりに低下し、原指数も61.2(前
年同月比12.8%低下)と5か月続いて低下し
た。

内訳を前月比で見ると、電気機械が液晶素子
等の生産減により5.6%低下、食品品・たばこ
が0.6%低下、一般機械が7.8%上昇、繊維
が1.6%上昇した。

在庫指数(季節調整済)は62.9と前月と同水
準となった。



大口需要電力実績(5月)

137,509千kwh(前年同月比1.4%増)と2か月続いて前年を上回り、鉱工業はパルプ・紙等で増となり5.5%増加した。

青果物卸売量(6月、鳥取市場)

野菜が1,592t(前年同月比0.4%減)と3か月ぶりに前年を下回り、果実は1,026t(前年同月比3.0%増)と13か月ぶりに前年を上回った。

漁獲量(6月、境港)

7,901t(前年同月比30.9%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

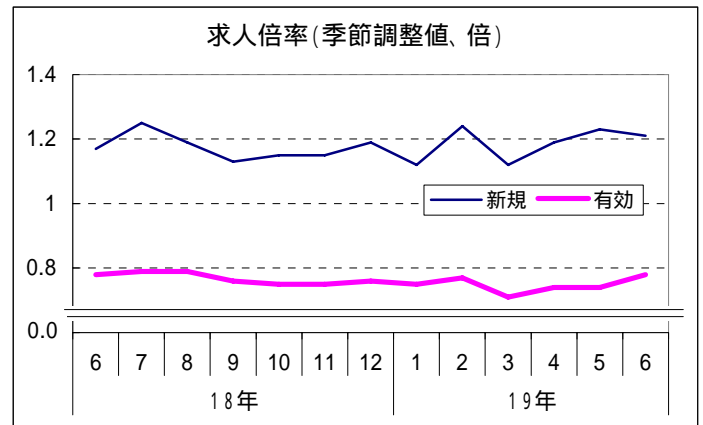
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(6月)

1.21倍(前月差0.02ポイント低下、前年同月差0.04ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,961人で前年同月比7.2%の増であった。

有効求人倍率(6月)

0.78倍(前月差0.04ポイント上昇、前年同月と同水準)と9年4か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(5月)

254,871円(前年同月比1.1%増)と2か月ぶりに前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、247,572円で11か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(5月)

8.8時間(前年同月比4.8%減)と5か月続いて前年を下回った。主力の製造業は13.4%減となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比206.9%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比52.4%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(5月末)

預金残高は、1兆8,491億円(前年同月比0.9%増)と9か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,411億円(前年同月比2.6%減)と9か月続いて前年を下回った。

参考

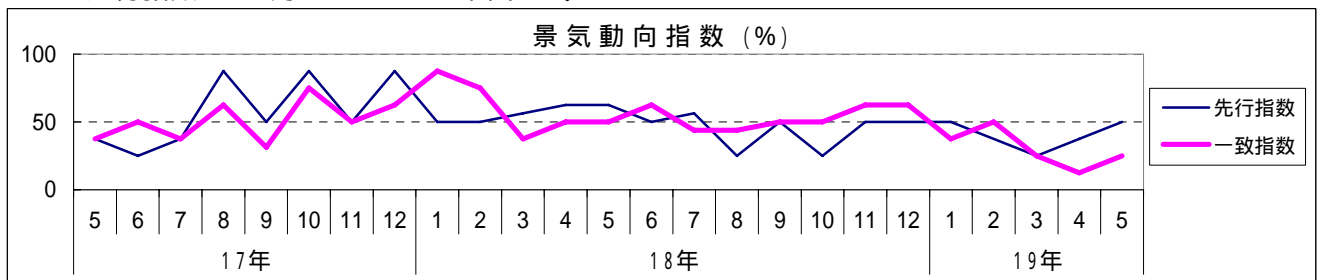
鳥取県景気動向指数(5月)

先行指数50.0%、一致指数25.0%、遅行指数30.0%となった。

先行指数は3か月続いて50%を下回った後、50%となった。

一致指数は3か月続いて50%を下回った。

遅行指数は2か月ぶりに50%を下回った。



企業倒産(6月)

件数は1件(前年同月比75.0%減)で2か月ぶりに前年を下回り、負債総額は4,000万円(前年同月比96.2%減)で4か月続いて前年を下回った。

消費者物価指数(6月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.2となり、前月と同水準で、前年同月比(0.7%下落)は10か月続いて下落した。

鳥取県の推計人口(7月1日現在)

600,324人で、前月と比べて239人(0.04%)減少し、前年同月と比べて3,929人(0.65%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年5月調査)

平成19年7~9月期は、平成19年4~6月期に比べると景気、売上高、経常利益ともやや好調となる見通しとなっている。